










局長	所長	保存整備室長	保存整備室	
			(内田係長) 	(若松係長) 
	総務課長	ナゴヤ魅力向上室主幹		調査・研究センター
		(服部主幹) 		


令和2年3月31日


復命書


名古屋市長 河村たかし 様


観光文化交流局名古屋城総合事務所

所長 佐治 独歩 

保存整備室長 堀田 俊幸 

主幹 蜂矢 祐介 

調査研究センター副所長 村木 誠 

主幹 片岡 進矢 

下記のとおり出張しましたので、報告いたします。

記

- 1 日時 令和2年3月26日(木) AM10:00～AM12:00
- 2 用務 名古屋城展示収蔵施設外構工事地下遺構き損事故について
全体整備検討会議について
- 3 出張先 文化庁文化財第二課
- 4 対応者 別紙のとおり
- 5 内容 別紙のとおり

2020年3月26日 文化庁打ち合わせ

日時 2020年3月26日 木曜日 10時～12時

出席 文化庁 山下主任調査官 平澤主任調査官

名古屋市 文化財保護室 片岡室長

名古屋城 佐治所長 堀田室長 蜂矢主幹 村木副所長

内容

以下の点について報告し、それぞれ下記のようなコメントを頂いた。

- ・「特別史跡名古屋城跡における遺構のき損等事故再発防止対策」について
- ・全体整備検討会議と各部会の関係性の整理について
- ・天守閣木造復元工程見直し素案について

○「特別史跡名古屋城跡における遺構のき損等事故再発防止対策」について

- ・現在の遺構の状態と、それを踏まえた今後の修復の検討方針を書き込む
- ・原因をきちっと整理し、仕組みとしての再発防止策を導けるようにすること
- ・再発防止策について

土木工事等に対して、「遺構をどう保存していくか」という基本を全職員が理解することが最初に来るべき

各項目は、主文と留意事項のように分けて書き、どれが中心か明瞭にするとよい
数が多すぎるので、5つくらいの柱に整理するとよい

※他の作業場所について

五番の蔵について、六番の蔵と同じことがすでに施工され、遺構への影響が確認できていないということであれば、確認してもらう必要がある

これらの案件も含めて再発防止策を作成する方がよい

○全体整備検討会議と各部会の関係性の整理について

これからは、全体整備会議が知らないことが部会にかかるということがないということ
とでよいか

○天守閣木造復元工程見直し素案について

これは名古屋市が検討されたものであり、文化庁としては特にいうことはない。市長とよく相談してください。